

# 物質班 大阪湾観測機器設置報告

作成：石飛智稔（地球研）

## 概要：

大阪湾において、海底からの地下水湧出量測定のための長期測定を行うために、地下水湧出量計の設置を行った。海底からの地下水湧出量の測定を行うことは、陸域から海洋への地下水流出量の定量的評価に加え、水の移動に伴う物質の輸送量の評価にも貢献する。本測定は数年オーダーでの測定を予定しており、これほど長期の海底地下水湧出量連続データは、ほとんど前例もなく世界的にも貴重なものである。なお、データの回収は2・3ヶ月に1度のペースで行う予定である。

## 設置日時：

2005年12月26日（月）

## 参加者：

谷口真人（地球研） 石飛智稔（地球研） 林美鶴（神戸大） 神戸大スタッフの方々

## 設置場所：

神戸大学深江キャンパス構内

## 測定項目：

- ・ 海底からの地下水湧出量の連続測定
- ・ 海底からの湧出水の電気伝導度の連続測定

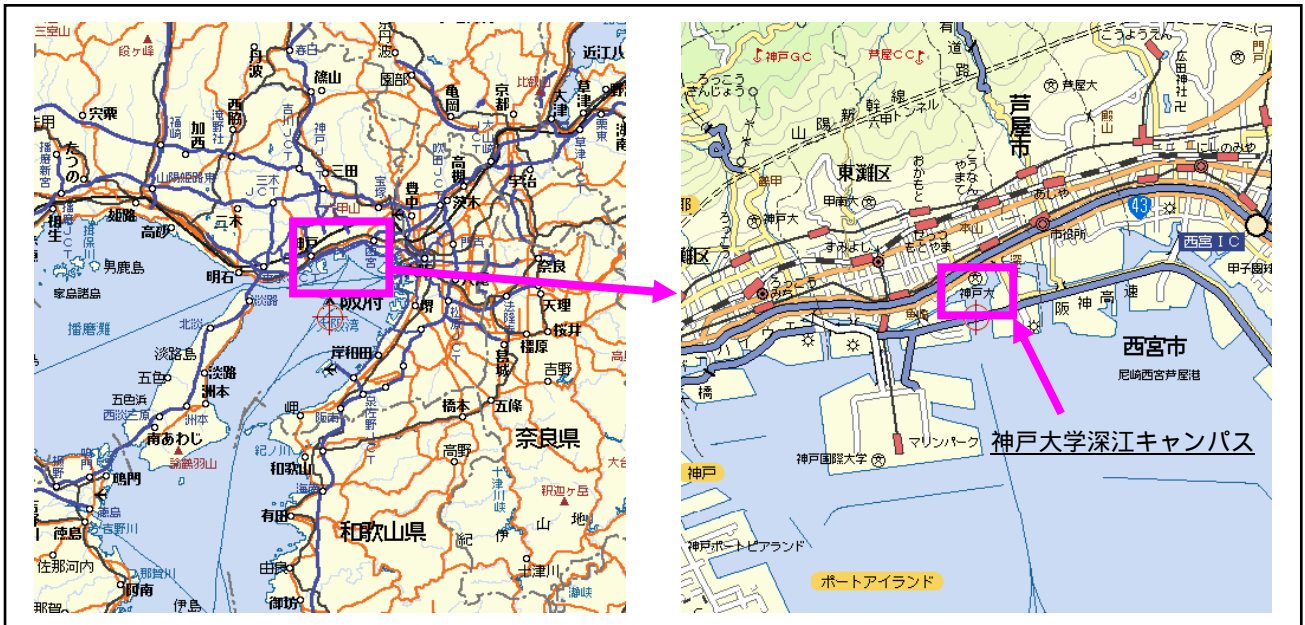


図1．機器設置位置図



図 2 . 測定機器 (地下水湧出量計)  
(静岡市用宗にて撮影)



図 3 . 設置現場 (手前の黄色いブイの地点に設置)  
(南向き (沖方向) に撮影)



図 4 . 設置現場 2 (赤い矢印の地点に設置)  
(西向きに撮影)



図 5 . 後背地の様子  
(北向きに撮影)